



委員会活動報告

総務常任委員会

次期任期の総務常任委員会への申送り事項として、

◎防災・減災活動について

- ①担当課より提出の防災倉庫内備蓄品について精査を依頼。
- ②三芳町議会災害行動マニュアルに沿った平時の防災・減災活動に関する活動を委員会が主体となり実施する事を依頼

◎議員報酬について

平成8年以降16年間議員報酬の見直しが実施されておらず、近隣の自治体と比較して大幅な乖離が見られる中、調査研究を実施したが、検討期間が短いことと根拠データの不足も有り、委員は「概ね報酬を上げるべき」との意見であったが、引き続き検討をする事が望ましいとした。



厚生文教常任委員会 所管事務調査

当委員会では、2月6日に工事完了前の新学校給食センターと中央公民館を視察調査した。学校給食センターでは公民館と併設のため、衛生面の安全性や食材の安全、従業員の導線や内装の仕上がり状況などを確認した。現在の学校給食センターと比べるとかなり安全性が高まり、2階から調理の様子が見学できるなど児童生徒の食育に期待する。

また、中央公民館では、公民館利用者の安全な導線の確保や多目的ホール・各部屋の使い勝手などを確認した。

今回の研修は、長年町民の皆様からの要望である学校給食センターの建設環境整備と、生涯学習の公民館設置を確認することができ、大変有意義な研修だった。



三芳町議員定数適正化検討特別委員会

結論

現在の定数15名は適正ではない。

適正な定数については増やすべき、減らすべきと意見が分かれば協議の結果、合意には至らなかった。

理由

地方自治法では採決の際、可否同数の時は議長が決することとしているが、議員定数が奇数の場合は議長判断となる機会が多く、公平な議事進行の立場から好ましくない。

よって議員定数は偶数が適正であるなど。

審議経緯

平成26年12月に当特別委員会が設置されてから竹間沢公民館での出張委員会を含む計5回の審議で、全国の同規模議会の定数や活動状況を調査し、また識者の文献や傍聴者の意見を参考に検討した。



施政方針に対する代表質問

財政の硬直化と予算編成について

三 芳
みらい

問 財政構造の硬直化の改善と健全な行財政運営のために平成25年に2カ年計画で脱財政硬直化宣言「三芳町緊急行財政対策プラン」を策定し、平成25年度は目標を達成し、平成26年度も達成する見込みとなっている。この脱財政硬直化宣言では平成27年度の予算編成においてどのような効果があったか。

問 厳しい財政状況が続き、右肩上がりの経済成長が期待できないなか、地方自治体は「身の丈にあった予算の取捨選択」の時代とある。近年の予算規模は税収が伸び悩むなかでも総額は着実に伸びている。三芳町の身の丈にあった予算規模はどのくらいと考えているか。

問 第5次総合計画策定では、住民参加とバックキャストイング



の手法が重要だと言っている。めまぐるしく変化をしている社会状況のなかで、8年後の三芳町の将来像をどう作っていくのか。またキーワード（最重要課題）となることは何か。

問 計画期間8年の第5次総合計画と政府が打ち出した5カ年計画の地方創生事業は重なる部分も多い。この2つの計画等をどのように連携して策定しているのか。また三芳町のそれぞれの地域や各世代の特性を考慮し、バランスのとれた計画を期待しているがどうか。

町政運営・スマートーC・第5次総合計画について

公明党

問 町政運営の基本方針について「三芳町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定する中で、国の交付金を活用した事業が実施される。消費喚起・生活支援型の2事業で、当町のプレミアム付き商品券や結婚・出産のお祝い商品券等の交付を選択された理由と効果は。

問 地域創生先行型事業として3事業を選択された理由と効果は。

問 行財政改革を推進する中で、住民サービスの向上と持続可能な財政運営に対する考えは。

問 公共施設マネジメント基本計画に基づくインフラ整備の具体的な計画及び整備にかかる費用は。

問 高齢者福祉については。

問 三芳スマートーCフルインター化の中長期的

なビジョンは。

問 第5次総合計画の策定に当たり障がい者や高齢者にやさしいまちづくりを構築する上で、安心して暮らせるユニバーサルデザインのまちづくり、長期的な展望をもって持続可能な社会を構築するまちづくり、更に女性が輝き、力を発揮できる男女共同参画社会のまちづくりなどが、第5次総合計画に買われる基本的な考えは。



未来創造プラン・交通インフラについて

無会派

問 調整運営の基本方針については、4年間進めてきたマニフェストで完了したものの、継続するもの、中止したものがどのようになつて新たなマニフェスト「未来創造プラン」になつたのか。

問 「大胆な事務事業の見直し」「公共施設の統廃合」等、削減はあるが税収を増す取り組みはどのようなことを考えているのか。

問 第5次総合計画の策定に向けてだが、第4次総合計画の達成度の把握と第5次総合計画に向けて継続するものと新規に取り組むものは何か。

問 豊かな生涯学習を育むまちづくりについてだが、中学生海外派遣事業について、この



3年間中学生海外派遣復活後マレーシアへの訪問だが、以前はオーストラリアへの訪問もしていたが、今後他の国への訪問の検討、生徒たちの希望や意見等聞いているのか。また聞く予定はあるのか。

問 交通インフラについてだが、啓発運動として実施している二市一町の交通キャンペーンの内容、今後の予定は。

問 スマートインターチェンジフル化計画に伴う環境整備については具体的にどうなっているのか。

「地方創生」と三芳町の取り組み

日本共産党

問 国は、地方を疲弊させてきたことを反省せず、「地方創生」の新たな看板で国策を地方に押し付けている。しかし交付金を有効に活用し、住民の暮らし・福祉向上に繋げる三芳町の政策が問われる。①安定雇用の創出、②地方への新しい流れづくり、「人ロビジョン」の考え方は。

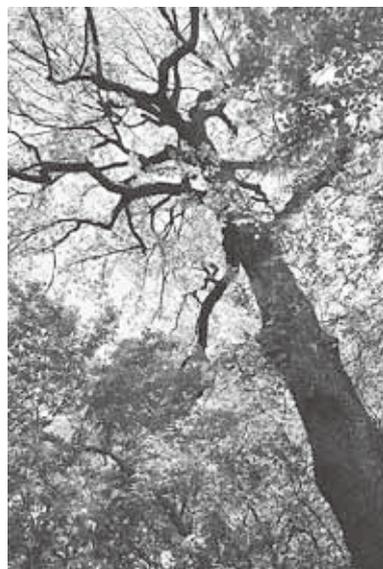
問 当面の事業として、三富新田観光促進、藤久保地域拠点整備、子育て応援等が提起されているが具体的内容について。

問 全体の費用が20億円と増えている理由について。

問 町の説明時に、①生活道路への交通安全対策がない②物流倉庫などの進出で自然破壊が危惧される③費用対効果が曖昧だなど指摘され

問 大綱には、行政評価システムを適正に活用し、既存の事務事業の縮小・廃止・改善がうたわれ、新年度子育て・高齢者への助成事業がカットされている。理由について。

問 大綱の中には、「民間活力の導入」「受益者負担の適正化」が設定されている。具体的事業は何か。



請願

採択
「三芳野病院前に
バスの停留所を設
置する請願」



●請願趣旨

病院利用者や近隣住民のために、バス停が公共施設前にひとつ増える事で高齢者の方々や、病で歩行困難な方々、買い物やお出かけによる日常生活の利便性向上を鑑み、請願するものです。

●審議経過

本請願は、平成26年9月議会に出され総務常任委員会に付託し審査した結果、試行運転を開始するデマンド交通の結果を反映するなど、継続審議となりました。

●審議結果

ライフバスの公共性と高齢者や体の不自由な方の病院利用を考慮する一方で、地域住民の要望である通学路の交通安全や通勤時のバス遅延等を考え、朝夕のラッシュ時には乗り入れをしない運行を付記しバス停の設置を「採択すべきもの」と決定いたしました。

●採択

この委員会及び少数意見の留保の報告を受け、本議会で審査した結果「採択」と決定致しました。

陳情・要望

不採択
「集团的自衛権を
容認する閣議決定
の撤回を求める意見書」
の提出を求める陳情

●陳情主旨

平成26年7月1日に安倍内閣は集团的自衛権の行使を容認する憲法解釈を「閣議決定」した。現憲法制定以降、政府は一貫して集团的自衛権は認められないとの立場を崩さずにきた。しかし、この重大な解釈の変更を国民に問うことなく閣議決定したことを撤回することを強く求める陳情。

●審議経過

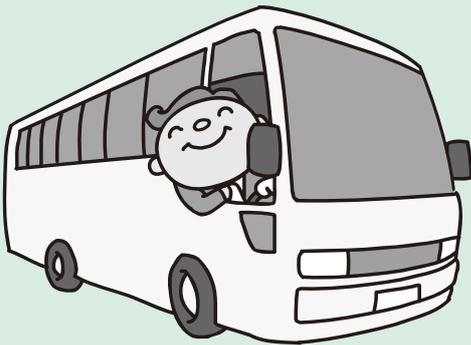
本陳情は、総務常任委員会に付託され審査しました。その結果、国会の議論は進んでおり関連法案整備の中で自衛隊の無原則的に出動しないよう歯止めをかけるべき、閣議決定の撤回は遅いのではないか。それには新たな提案が必要だと意見等が出され、採決の結果「採択すべきもの」と決定致しました。

賛成
討論
細田議員

今後、益々三芳町においても高齢化が進み病院に通院、面会に来る方々が増えていく中、交通手段というものは大変重要である。特にこの地域には三芳野病院以外にも特別養護施設が隣接し面会に来る方も多数みられる。住みやすい三芳町を目指す意味においても停留所を設置すべきである。

賛成
討論
秋坂議員

平成22年度実施の三芳町住民意識調査で、町に住み続けたくない理由の51%が交通が不便、29%が買物等日常生活が不便、29%が医療や福祉、介護の不安という結果が出た。その点、この場所には総合病院を中心に介護施設や自治会等があり、利便性向上には是非必要なバス停留所である。



不採択
「辺野古新基地建設工事の即時中止と移設の断念並びに普天間飛行場の閉鎖・撤去を求める意見書」の提出を求める請願について

●請願趣旨

国土面積の0.6%に過ぎない沖縄県に日本の米軍施設の74%が集中している。その沖縄県民が選択した

- ① 辺野古新基地建設の即時中止と基地移設断念。
- ② 普天間飛行場の閉鎖・撤去。
- ③ 名護市長選、名護市議選、沖縄県知事選、総選挙の結果を尊重し民主主義を守る。

●審議経過及び結果

以上を三芳町として国に意見書の提出を求める請願。本請願は、本議会に直接審議され、審査の結果、本請願は「不採択」と決定致しました。



● 審議結果

この委員会の報告を受け、本議会で審議した結果、本陳情は『不採択』としました。

不採択

● 三芳野病院前にバス停を設置しない要望書

● 要望主旨

病院前の道路の幅員が狭く、児童の通学路に指定され、また近隣の生活道路となっており、バスの乗り入れが実施されると交通事故の危険性が増大するためバス停の設置を認めない要望。

● 審議経過と結果

停留所の設置を求める請願に朝夕のラッシュ時に交通安全を考慮し乗り入れをしないことを付記すること等の意見が出され『不採択すべきもの』と決定され、本議会で審査の結果『不採択』と決定致しました。



意見書

給付型奨学金制度の創設及び貸与型奨学金制度の見直しを求める意見書

学ぶ意欲のある学生が経済的な理由で就学を断念することなく、誰もが安心して高等教育を受けられるよう現行の奨学金制度を見直し、給付型奨学金制度の創設及び、無利子奨学金制度（返済猶予期間・返済方法の見直し等も含む）の拡充を図り、早期対策を講じられるよう強く求めます。

（提出先）

- 内閣総理大臣
- 文部科学大臣
- 衆議院議長
- 参議院議長

教育長より教育方針の発表がありました

議会改革の一環により、町長の施政方針の発表に引き続き、教育長の教育方針の発表が、今回初めて行われました。

傍聴席から

3月定例会を傍聴された方からご意見・ご感想をいただきました。



かったです。 (藤久保 Mさん)

より良い町づくりを考え、町政と議員としっかりとした議会が開催されており、町民として大変に喜ばしいことであります。もっと多くの方が町政に関心を持つてくれることを望みます。 (藤久保 Hさん)

より良い町づくりのためにしっかりと調査をして質問、提案をしていることを知り、これからの町づくりに期待します。

(藤久保 Nさん)

質問通告書に対する答弁が課によっては前もって試算を出していなかったり積極的に調査された上での発言はなかったりと、意欲をもって取り組んでいるようには感じられなくてとても残念に思っています。

(北永井 Oさん)

他にもたくさんのご意見をいただきましたが、一部を紹介しました。

3月定例会の傍聴者数

	日程	人数
本会議	2月25日	5
	3月2日	14
	3月5日	43
	3月6日	11
	3月12日	3
	3月23日	10
委員会	2月25日 (総務)	0
	3月3日 (議運)	0
	3月6日 (全協)	0
	3月6日 (総務)	4
	3月9日 (定数)	3
	3月11日 (議運)	0
	3月12日 (予算)	0
	3月13日 (予算)	1
	3月15日 (予算)	9
	3月16日 (予算)	1
	3月17日 (予算)	0
	3月18日 (予算)	0
	3月18日 (改革)	1
	3月19日 (広報)	0
3月20日 (全協)	0	
3月20日 (議運)	0	
3月23日 (議運)	0	
合計		105

3月27日 金



中央公民館見学会が行われました。
5月3日に開館記念式典・5月15日に開館します。



次の議会定例会は



6月1日 (月)

開会の予定です

皆様の傍聴をお待ちしております

町村議会議員特別表彰 議員27年以上として



内藤美佐子 議員



杉本 しげ 議員

表彰されました
全国町村議会議長会より自治功労者として表彰されました。おめでとございました。

議会だよりの表紙写真を募集します!

6/26(金) 締切



詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

ホームページ <http://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/gikai/>

編集後記

2月25日から開催された平成27年第2回定例会は3月23日までの約1ヶ月間行われました。平成27年度会計予算は委員会方式で審議され、日曜日も開催したということもあり、多くの皆様に傍聴にお越し頂きました。質疑にも大変熱が入りました。

また、一般質問は9人の議員が行い、町政全般にわたりそれぞれの議員の立場から、違った観点で質問をいたしました。

今定例会も多くの皆様に傍聴にお越し下さいまして誠にありがとうございます。これからも「開かれた議会」を目指し議員一丸となり取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いたします。

議会広報広聴常任委員会

委員 細田

- 委員長 吉村 美津子
- 副委員長 久保 健二
- 委員 石田 豊旗
- 委員 細田 永
- 委員 小松 伸介
- 委員 山口 正史
- 委員 秋坂 豊